

| | |
|-------------|---|
| Title | 和歌山県白浜町"北浜"へ2007年11月に打ち上がった稀少種クロハコフグ(ハコフグ科) |
| Author(s) | 久保田, 信 |
| Citation | 漂着物学会誌 (2008), 6: 20-20 |
| Issue Date | 2008 |
| URL | http://hdl.handle.net/2433/179171 |
| Right | © 2008 漂着物学会 |
| Type | Journal Article |
| Textversion | publisher |

久保田 信¹：

和歌山県白浜町“北浜”へ2007年11月に打ち上がった稀少種クロハコフグ（ハコフグ科）

Shin KUBOTA¹: A rare species, the blue boxfish *Ostracion meleagris meleagris* (Ostraciidae) washed ashore at a coast of “Kita-hama beach”, Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan in November, 2007

クロハコフグ *Ostracion meleagris meleagris* (ハコフグ科) は、南西諸島では普通種とされるものの和歌山県白浜町の白浜半島の先端の海岸では、1964年と1966年にわずか3個体の幼魚（全長35–50mm）が生きたまま捕獲された記録（田名瀬・久保田，2002）と白浜半島先端に所在する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所北浜に、2002年，2004年，2005年の冬季にそれぞれ5個体（全長75.9–90.7mm），1個体，1個体の幼魚が打ち上がった記録が残されているだけである（田名瀬・久保田 2002；久保田ほか 2003；久保田 2006）。それ以降，2008年9月中旬に至るまで，本種の幼魚は2007年11月17日に1個体が北浜に打ち上がったのが筆者により発見されただけであり，この稀少例をここに記録する。

この個体も以前に打ち上がった7個体と同様に外傷も腐臭もない新鮮な幼魚（全長75mm，体長50mm）で，黒色の地色に多数の白色点が散りばめられていた（図1）。この個体の死亡原因は不明である。昨今の地球温暖化に伴い，和歌山県白浜町沿岸では南方系の動物たちの出現が記録されており（久保田 2006），今後，本種の当該海域への多数個体の出現が期待されるものの打ち上げは頻繁にはおこらないと推察される。

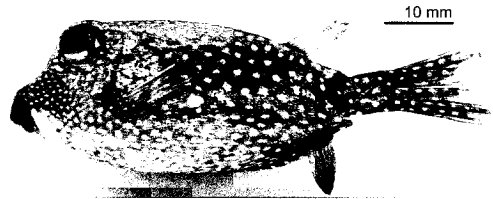


図1. 和歌山県白浜町瀬戸臨海実験所“北浜”に2007年11月17日に打ち上がったクロハコフグ *Ostracion meleagris meleagris* の幼魚（全長75mm）。

引用文献

- 久保田 信・檜山嘉郎・田名瀬英朋 2003. 番所崎，特に“北浜”（和歌山県白浜町）へ打ち上げられた魚類. ころしお22: 31-33.
- 久保田 信 2006. 久保田 信著 宝の海から 白浜で出会った生き物たち. 233pp., 紀伊民報, 田辺市.
- 田名瀬英朋・久保田 信 2002. 和歌山県田辺湾から採集された稀種クロハコフグ(ハコフグ科, 魚類). 南紀生物44: 149-150.

(Received Sept. 24, 2008; accepted Oct. 19, 2008)

¹ 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所 ¹ Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, Shirahama 459, Nishimuro, Wakayama, Japan 649-2211